

鹿児島県総合防災訓練

5月18日、鹿屋市の串良川河川敷と田崎多目的運動広場で、鹿児島県総合防災訓練が行われました。

当日は、鹿児島県、自衛隊、大隅地域の各自治体やライフラインを取り扱う企業等が参加して、いろいろな状況を想定し、本番さながらの訓練を行いました。本町からも錦江町消防団宿利原分団が林野火災を想定した消火訓練に参加し、日頃の訓練どおり完璧な消火活動を行いました。

また、豪雨体験や地震体験などのコーナーもあり、改めて災害の怖さを実感させられました。

林野火災 編



(左)分団長の号令とともに一斉に消火活動に入る宿利原分団。日ごろの訓練どおり手際よくホースをつないでいきます。林野火災の消化訓練は山林の多い本町にとっても大事な訓練です。

宿利原分団に限らず、錦江町消防団の各分団は地域住民にとって大変頼りになる、無くてはならない存在です。



(上)鎮火後の撤収作業。

撤収作業も慣れた手つきですばやく行われました。

土砂災害 編



土砂災害が発生し、土砂に埋もれた車の中に人が取り残されているという設定で救助訓練が行われました。

電動カッターなどで車を解体しながら慎重に行われました。

本町でも近年、大規模な土砂災害が発生しています。

普段から気象情報等に注意し、防災に努めましょう。



ビル火災 編



数階建てのビル火災を想定してハシゴ車を使っでの救出訓練です。

本町では高層ビルはありませんが、住宅火災は十分に考えられます。火災の原因となる火の元には十分注意しましょう。

体験コーナー

今回の訓練では、地震や豪雨、応急救護の体験コーナーも設けてありました。



(左)180ミリの集中豪雨体験。

雨というよりは水が落ちてくるような感じです。自然の驚異を感じます。



(左)震度7の地震体験。

座っていても何かにつかまっていなければ倒れてしまいそうです。